

USB AUTOBACK ver. 1.501 全般

*** ストレスのない USB の自動バックアップ***

- [インストール](#)
- [アンインストール](#)
- [簡単な使い方](#)
- [詳細設定](#)
- [困ったとき](#)
- [問合わせ先](#)
- [変更履歴](#)

インストール

- 以前のバージョンがインストールされている場合はインストールする前にあらかじめアンインストールしておいてください。
- 圧縮されたファイル USB AUTOBACK.zip を WinZip などの圧縮ソフトを使って解凍します。解凍されて出てきた Setup.exe をダブルクリックして実行します。
- すると、インストーラが起動しますので、「OK」をクリックします。

アンインストール

- ウィンドウズのスタートボタンを押し、出てくる設定アイコンをクリックします。設定ウィンドウの中にある、いくつかの項目の中で、「アプリ」アイコンをクリックします。
- 数秒から 1 分くらい待つと、インストールされているアプリの一覧が表示されますので、その中から USB AUTOBACK をクリックし、出てきたメニューで、アンインストール を選択します。
- コンピュータを再起動します。

簡単な使い方

- USB AUTOBACK は、簡単に使えます。コンピューターが立ち上がる時に自動的に USB AUTOBACK が起動され、最初から挿入されている USB や、後から挿入された USB を検出し、コンピューター側の記憶媒体にバックアップします。デフォルトでは「マイドキュメント」フォルダにバックアップ先のフォルダが作られます。
- 今までチェックされていない(即ち、未確認の)USB が挿入されたときには、[バックアップするかどうか問い合わせるダイアログ](#)が表示されます。「次回からこの USB に関して確認しない」チェックボックスをマークすると、同じ USB に対しては問い合わせなく自動でバックアップされます(あるいは、問い合わせることなく無視されます)。
- 詳細な設定をしたい時や、バックアップデータからある時点での USB の再構築をしたい場合は、右下のウィンドウズ タスクバー トレイアイコンから、“



”をクリックすると、[USB AUTOBACK のメニュー](#)が表示されます。その中で、「[バックアップデータの復元](#)」を選びます。

詳細な設定方法

- [トレイ・メニューの項目説明](#)
- [バックアップの詳細設定](#)
- [バックアップデータの復元方法](#)

困ったとき

- - Q バックアップ中にうっかり USB を引き抜いてしまった、あるいは終了してしまった場合や電源トラブルが発生した場合
 - A ハードディスク自体に問題なく、ファイルの破損も見られない場合、そのまま使用していて問題ありません。次回バックアップ実行時に自動的に補正します。
- - Q 既にバックアップしている USB の名前を変更しました。データを受け継ぎますか。
 - A 別の名前にすると、別の USB と認識されます。従って、新しい USB として、別のフォルダにバックアップされます。ダブったフォルダが邪魔であるなら、フォルダごと消去してください。フォルダ名は USB の名前とシリアル ID を組み合わせたものです。ウィンドウズ エクスプローラ

一でバックアップ先フォルダを閲覧すれば、発見は容易です。前の USB 名の時のデータは以降も再構築可能です。バックアップフォルダの一の例:ドキュメントフォルダ内にフォルダ
一"USB_AUTOBACK_BackupFolder"が作成されているので、そこを見
てみると USB 毎のサブフォルダが見つかります。例えば、¥TOSHIBA
(Vendor=TOSHIBA Prod=1.00 Serial=%030 Ser2=573520620)などで
す。

- - Q USB を挿すたびにバックアップするかどうか聞いてくるのがうっとうしいので、次回から質問しない設定にしたが、元に戻すなど、変更したい場合どうするのか
 - A スクトレイの USB AUTOBACK アイコンをクリックし、メニューから設定を選択し、設定ウィンドウで、「バックアップリスト表示」ボタンをクリックします。表示されたバックアップリストあるいは拒否リストを編集します。
- - Q USB AUTOBACK をアンインストールすると、バックアップデータはどうなりますか。
 - A バックアップデータはそのままです。再インストールする場合は、インストール後、バックアップフォルダを、前回インストール時のバックアップフォルダと同じに設定してください。そうすれば、バックアップデータを再構築できるようになります。
- - Q USB をバックアップした後、バックアップの設定でバックアップするサブフォルダを変更してしまいました。不具合が生じたりしませんか？
 - A 既にバックアップしたデータがある USB に対して、バックアップ対象のサブフォルダを変更しても、特に再構築の際、不具合は発生しません。
- - Q USB メディアを取り出そうとして、トレイの「ハードウェアを安全に取り出す」アイコンをクリックして取り出そうとしても、「使用中で取り出せない」旨の表示がありました。どうしたら取り出せますか？
 - A USB AUTOBACK トレイメニューで、「全 USB バックアップ・監視」→「作業中止」を選択します。あるいは、セットアップダイアログ上で、「全バックアップ・監視作業を中止」ボタンをクリックします。そうすることで、USB 上でのファイル操作の監視を中止させます。USB の挿入や、内容の変更を再び検出させるためには、「全 USB バックアップ・監視」→「作業開始」を選択してください。

問い合わせ先

USB AUTOBACK を私的にあるいは商用で使用しても結構です。リンクも OK です。
その他問い合わせ先は sudotwin@wa2.so-net.ne.jp まで

変履歴更

●2024/1/8: ver1.501 にアップデート。

バグ訂正。バックアップの設定で、[サブフォルダのバックアップ指定](#)をするとバックアップしなくなる、また、復元時の設定で同様に[サブフォルダのみの復元](#)を指定したときに復元しなくなるバグの訂正。かなりでかいバグなのに何となく気付くこともなく、大変ご迷惑をおかけしました。

●2023/8/16: ver1.5 にアップデート。

① バグフィックス:USB のシリアルナンバー(セットアップダイアログでは、Ser Num と表示されている)が、表示できないキャラクターを含んでいることがあることが判明しました。その場合、バックアップフォルダの名前に組み込まれる部分がエラーとなり、フォルダが作れずに、バックアップに失敗することがあります。これは、KIOXIA の製品などにみられる現象です→これを避けるために表示不能文字を変換して表示するように変更しました。

② バグフィックス:USB を抜く時に、監視用のタイマーを止めないといけないのに止めていなかったで、USBを抜いた後、USB内容の削除履歴を誤って書き込んでしまい、バックアップフォルダが肥大してしまうバグが発覚しました。→しっかりタイマーを停止するようにして、さらに、削除履歴自体の容量も不必要に大きかったのをほぼゼロにしました。

③ 機能改善:当ソフトは、マルチタスクに対応しており、バックグラウンドで複数のジョブが同時進行しています。セットアップダイアログ上の、「全バックアップ・監視作業一覧を表示」ボタンをクリックすると、作業中の全てのスレッドと、監視用のタイマーを一覧表示します。

④ 機能改善:複数の USB を刺している状態で、バックアップしているときなど、途中経過の報告がごちゃ混ぜになってしまい、分かりにくかった→先頭にドライブ名を表示してどのドライブについての報告なのか見分けがつくようにしました。

⑤ バグフィックス:DVDを挿入しても、USB として認識してしまう。→USB 認識の精度を高めた。


●2019/7/12: USB の再構築のダイアログ中の、再構築する USB を選択するコンボボックスで、ちゃんと選択できないバグを除去し、バージョンを v1.01 としました。

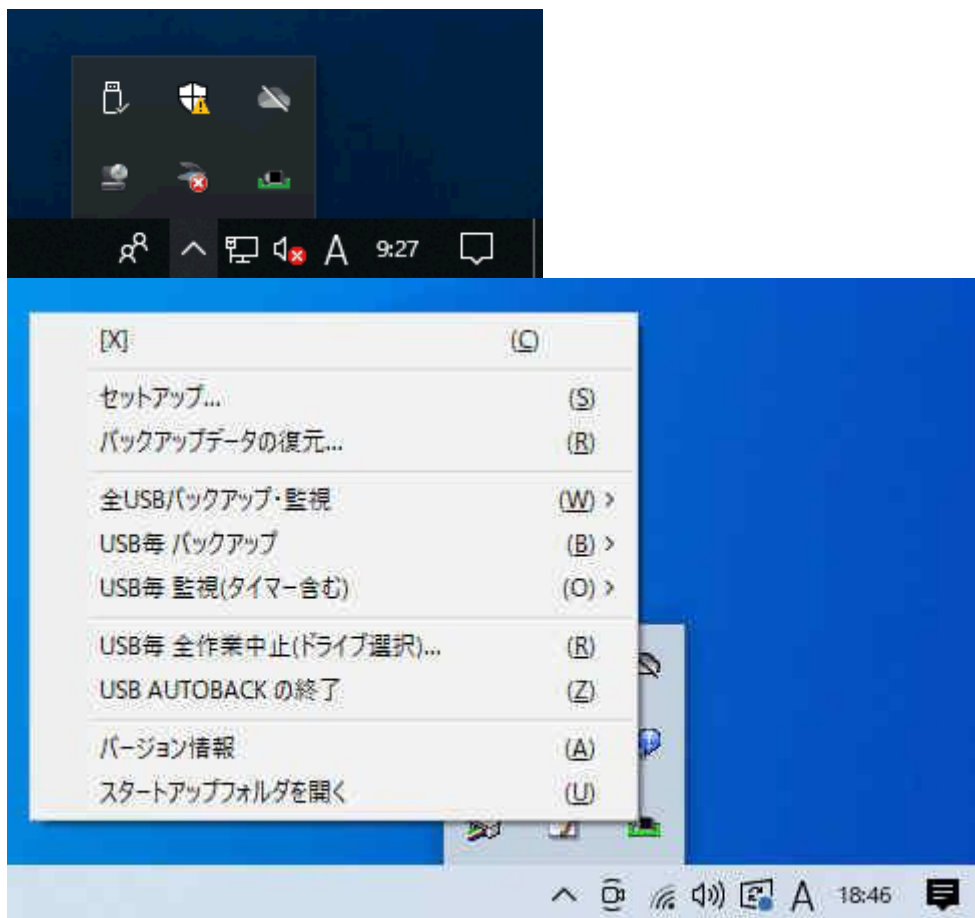
バックアップの詳細

バックアップの詳細設定に関して

- [「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウを開く](#)
- [「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウの説明](#)
- [USB をバックアップリストに加える](#)
- [USB を拒否リストに加える](#)
- [サブフォルダのみをバックアップする方法](#)
- [バックアップ先のフォルダを変更する](#)
- [強制的にバックアップを開始する](#)
- [現在進行中のバックアップ作業を中止する](#)
- [バックアップされた USB を復元する](#)

「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウを開く

- ウィンドウズのタスクバー（次頁下図左側）の「^」マークをクリックし、出てきたアイコン群の内、“”をクリックするとメニュー（次頁下図右）が出ます。
- その中で、上から2番目の「セットアップ…」をクリックすると「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウが表示されます。

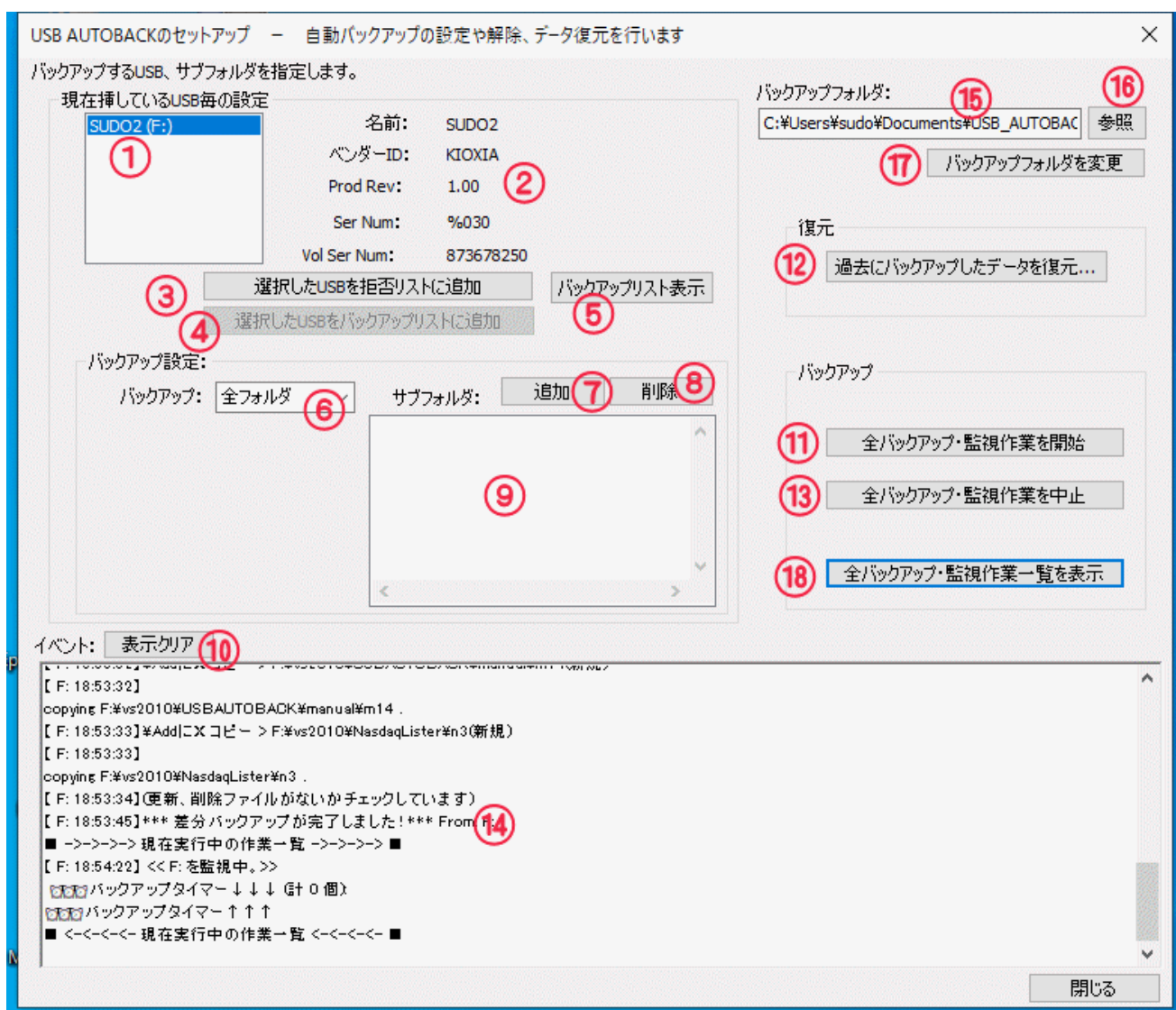


「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウの説明

下の USB AUTOBACK のセットアップウィンドウ の図を見ながらの解説をします。

- ①現在挿入されている USB の一覧が表示されています。どれか 1 つのアイテムをクリックすると②に、名前やシリアルナンバーなどが表示されます。これらの情報は、USB を一意に識別するための情報として利用されます。また、バックアップフォルダ名としても使われます。
- ②は、①で選択された USB の識別情報を表示するエリアです。
- ③及び④は、上の USB リストの中で、選択されている USB に対して、抜き差しされた時に認識されるかどうかを指定します。③は認識され、結果、自動でバックアップされるようになり、④は自動で無視されるようになります(つまりバックアップされません)。現在のバックアップ指定状況を見るには、⑤をクリックします。
- ⑥⑦⑧⑨は、①で選択された USB のバックアップが、全体で行われるのかそれとも一部のフォルダ(複数選択可)でのみ行われるのかを指定するためのものです。⑥で、「指定フォルダ」を選択した場合は、⑨にリストアップされている

- フォルダのみバックアップされます。「全フォルダ」を指定した場合、⑨はクリアされます。サブフォルダを追加、削除する場合は⑦と⑧で行います。
- ⑭は、現在進行中あるいは終了した作業を表示しています。表示をクリアするには⑩をクリックします。
 - ⑪はもとも自動で行われるバックアップ作業を、強制的に開始させます。逆に現在進行中のバックアップ作業を停止させるには⑬をクリックします。
 - ⑫は、バックアップした USB の内容を、指定した日時に遡って再構築するためのものです。



USB をバックアップリストに加える

- バックアップリストに加えたい USB を①で選択し、次に④をクリックします。そうすると④は無効化されます(灰色になります)。こうすることで、ウィンドウズ再

起動時や、USB 挿入時に表示されるバックアップするかどうかの問い合わせるダイアログが出なくなります。逆に、問い合わせダイアログを出現させたい場合には、⑤をクリックしてリスト編集用のウィンドウを表示させ、USB をバックアップリストから除外します。

。

USB を拒否リストに加える

- 特定の USB を無視する場合には、③をクリックします。無視を解除する場合、⑤をクリックして拒否リストから除外します。

。

サブフォルダのみをバックアップする方法

- ⑥で「指定フォルダ」を選択します。
- ⑦をクリックし、バックアップしたいサブフォルダを選択します。複数のサブフォルダを選択することもできます。但し追加するフォルダが既に追加したフォルダと親子関係がある場合は拒否されることがあります（告知ウィンドウが表示される）。

バックアップ先のフォルダを変更する

- 現在のバックアップ先フォルダは⑮に表示されています。これを変更します。
- そのためには、⑯をクリックしてフォルダを表示させ、好きな場所に再設定します。但し、USB 上は拒否されます。ローカルハードディスク上のフォルダにしてください。
- 最後に⑰をクリックして設定を変更します。⑰をクリックしないと、設定は変更されませんのでご注意ください。

強制的にバックアップを開始させる

- USB の挿入や、ウィンドウズの再起動時に自動的にバックアップ作業が開始されますが、手動でバックアップを開始することもできます。⑪をクリックすれば作業は開始されます。

バックアップの中止

- ⑬をクリックすると、進行中のすべてのバックアップ作業が中止されます。また、USB 上でのファイル操作に対する監視も中止します。バックアップを中止することで、バックアップデータが破損したり、以後のバックアップが正常にできなくなることはありません。その理由は次項目の通りです。
- バックアップデータは、特殊なものでなく、可読性の高い、フォルダ構造とそこに収納されたバックアップファイル群という形をとります。アプリ固有のデータファイルなどは作成しませんので、ハードディスクのフォルダ構造が破壊されない限りデータの安全は保障されます。バックアップ中にコンピュータの電源が落ちたなどのトラブルに際しても、ハードディスクのフォルダ構造やファイルそのものに損傷がない限り再構築や追加バックアップに支障はでません。バックアップリストやサブフォルダの情報などはレジストリに記録されますので、レジストリの損傷がなければそれらの情報も影響を受けません。また、たとえレジストリが消去されるなりした場合も USB AUTOBACK.exe さえ起動できればデータの再構築が可能です。その際、データを吸い上げるためのバックアップフォルダを再指定してください。
- 中止した作業を再開するには、⑪「バックアップの開始」をクリックします。作業は途中からでなく、最初から開始されます。また、停止していた USB 上のファイルの監視も再開されます。

USB データの復元

- ⑫をクリックすると再構築(復元)用のウィンドウが出てきます。詳細は次頁で。

•

USB の復元作業の詳細



USB の復元作業項目

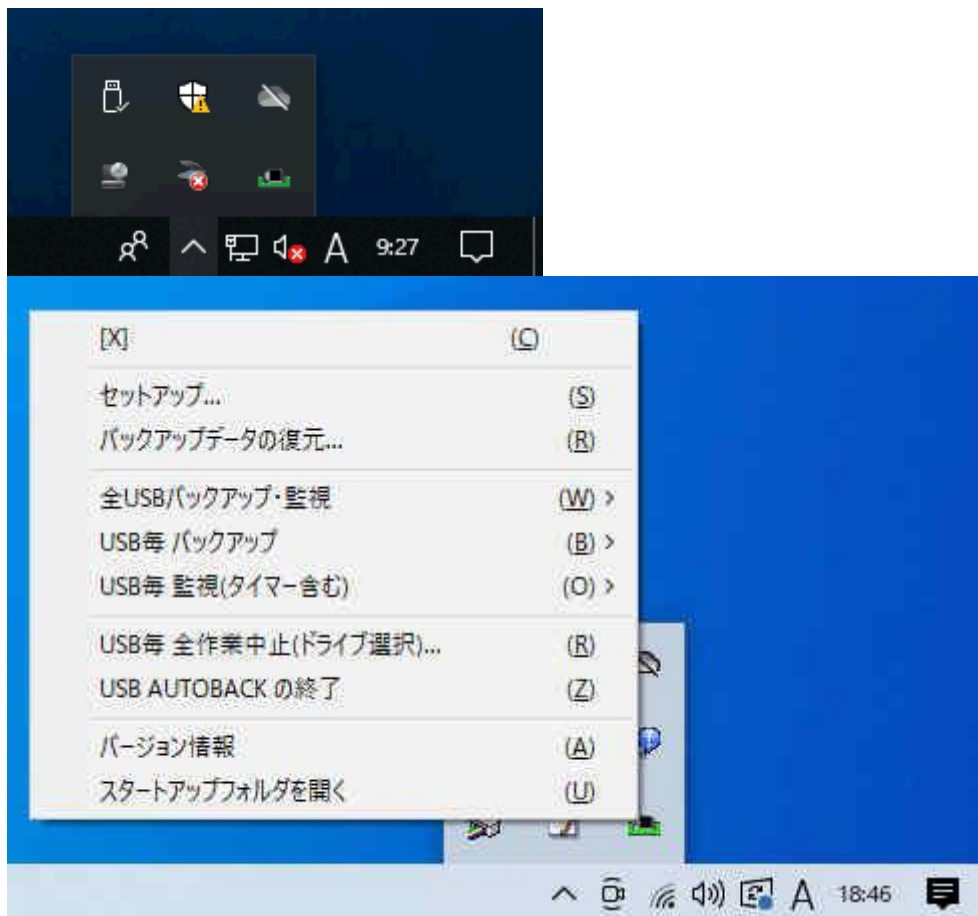
- [データを復元するとは](#)
- [「指定したフォルダへ USB データの復元」ウィンドウの表示方法](#)
- [どの USB を復元するか指定する](#)
- [どのフォルダを復元するか指定する](#)
- [どの日時を復元するか指定する](#)
- [復元先フォルダを指定する](#)
- [復元を開始する](#)

USB をバックアップしたデータを復元するとは

USB のデータのバックアップ方法は、単純にフォルダ構造とその上のファイルをコピーして保存するという単純な方法です。但し、変更のあった部分のみを検出して追加保存するため、丸ごとコピーを何度もするよりは小容量で保存できます。再構築する際は、バックアップしたデータを再構築して、バックアップした時点（複数から選択可能）の状態にします。どこに再構築するかは指定できます。

「指定したフォルダへ USB データの復元」ウィンドウの表示方法

- 下図左のタスクトレイのをクリックすると出てくるアイコン群の内、をクリックして、下図右のメニューを出します。
- メニューの下から2番目の「バックアップデータの復元…」をクリックすると、ウィンドウが表示されます(下図下)。



指定したフォルダへのUSB内容の復元

USBの全体あるいは一部(サブフォルダ)を復元します:

どのUSBを復元しますか:

どのサブフォルダ(あるいは全て)を復元しますか:

どの日時に復元しますか:

復元先(フォルダ)を指定してください: 参照

復元開始 閉じる

状況:

上図に次の解説の様に、順を追って必要事項を入力して復元を開始します。

どの USB を復元するか指定する

「どの USB を復元しますか」コンボボックスから、過去にバックアップされた USB の内、どれを復元するか選択します。下図の場合、「SUDODSK」、「SUDOUSB」、及び「USB DISK」の3つがバックアップされており、その中から選択します。”

USBの全体あるいは一部(サブフォルダ)を復元します:

どのUSBを復元しますか:

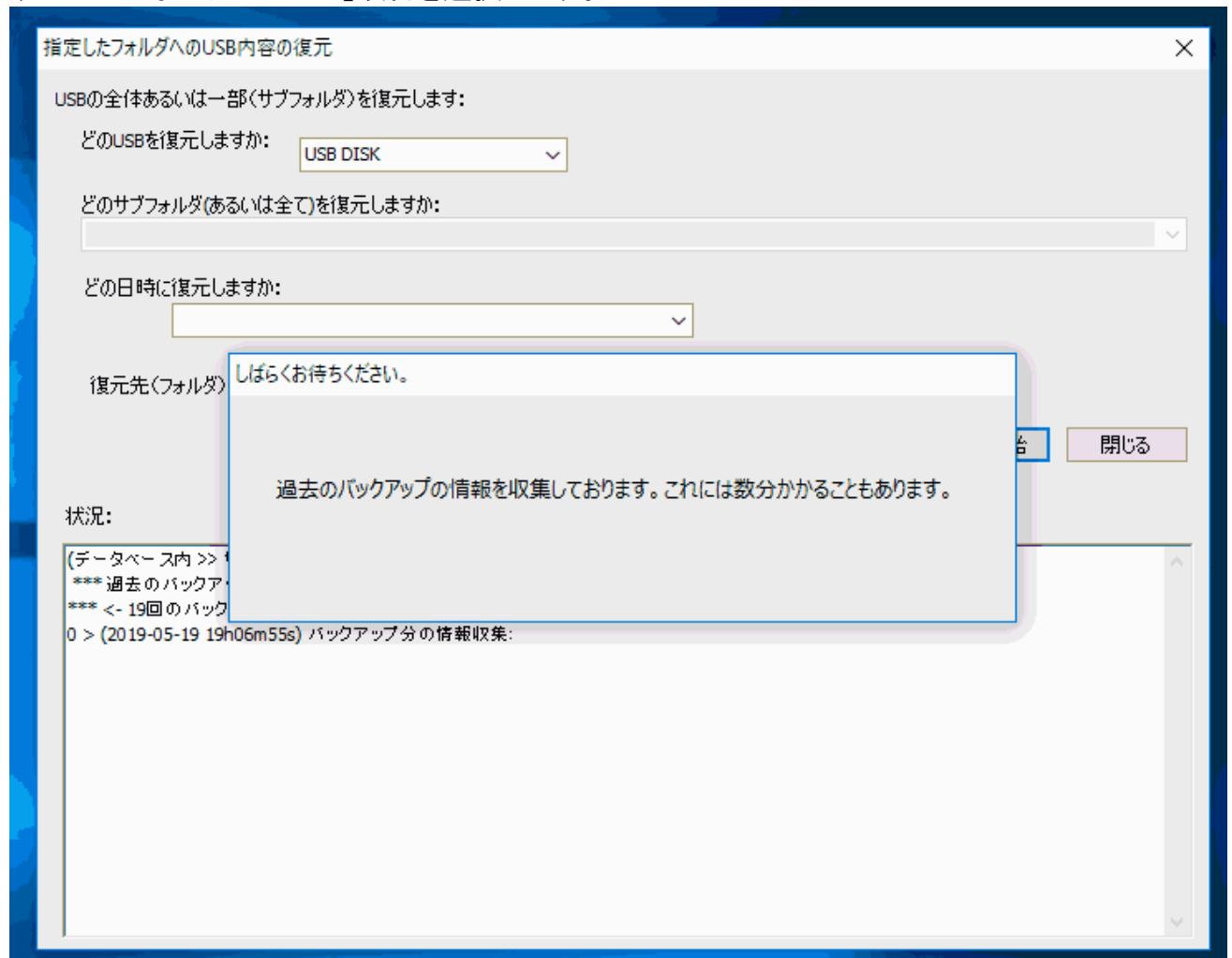
どのサブフォルダ(あるいは全て)を復元しますか:

どの日時に復元しますか:

SUDODSK
SUDOUSB
USB DISK

どのフォルダを復元するか指定する

全項目で USB を選択した直後、サブフォルダに関する情報を収集するため、しばらく下図のような「しばらくお待ちください」ダイアログが出現しますが、その後、「どのサブフォルダを復元しますか」コンボボックスがアクティブになり、選択可能になります。下図は、項目を表示させた状態です。全てのフォルダを復元するのでしたら、「* * * すべてのフォルダ * * *」項目を選択します。”



””

どの日時を復元するか指定する

次に、再構築可能な日時を選択します。”

指定したフォルダへのUSB内容の復元

USBの全体あるいは一部(サブフォルダ)を復元します:

どのUSBを復元しますか:

どのサブフォルダ(あるいは全て)を復元しますか:

どの日時に復元しますか:

復元先(フォルダ):

参照

復元開始

閉じる

状況:

12 > (2019-05-19 19h06m55s)
13 > (2019-05-19 21h19m01s)
14 > (2019-05-22 14h16m12s)
15 > (2019-05-22 14h16m16s)
16 > (2019-05-22 14h16m20s)
17 > (2019-05-22 16h46m50s)
18 > (2019-05-22 20h45m40s)
19 > (2019-05-22 20h52m07s)
20 > (2019-05-26 08h39m11s)
21 > (2019-05-26 08h58m44s)
22 > (2019-06-02 08h41m24s)
23 > (2019-06-05 16h00m16s)
24 > (2019-06-09 08h09m43s)
25 > (2019-06-12 11h56m42s)
26 > (2019-06-12 18h31m06s)
27 > (2019-06-16 08h41m07s)
28 > (2019-06-16 12h06m45s)
29 > (2019-06-16 20h57m16s)
30 > (2019-06-19 15h30m17s)

復元先フォルダを指定する

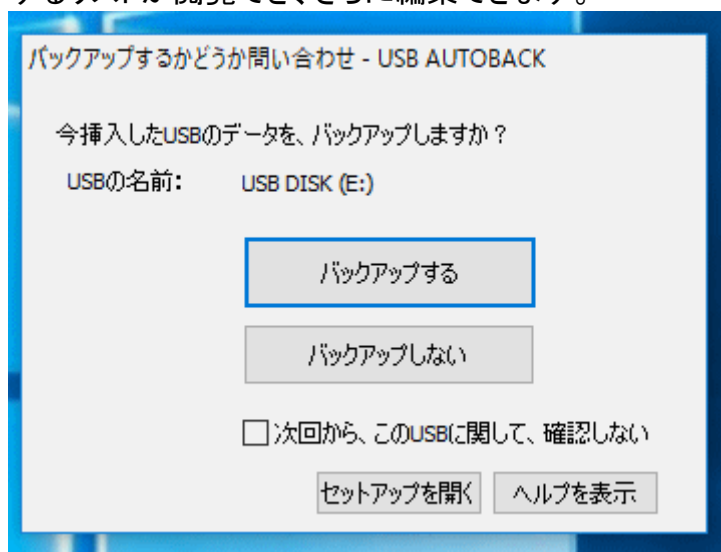
次に、復元先フォルダを指定します。「参照」をクリックすると、復元先を参照して選択できるようになります。

復元を開始する

「復元開始」ボタンをクリックすると、復元を開始します。「キャンセル」をクリックすると作業を中断できます。復元には数分から数十分かかりますので、しばらく様子を見てください。進行状況は「状況」ウィンドウに表示されます。このように、復元作業は簡単に実行できます。

USB を挿した時に出る質問ダイアログ

まだ「登録」されていない USB を挿した時や、挿した状態でコンピュータを起動した場合、下図のダイアログが出現します。「バックアップする」をクリックすれば、USB 全体をバックアップします。「しない」では、バックアップしません。「次回から、この USB に関して、確認しない」をマークしますと、次回からも質問されことなくバックアップされる、あるいはされなくなります。訂正するには、タスクバーの USB AUTOBACK アイコンをクリックしてメニューを出し、セットアップを選択します。出てきたセットアップウィンドウで「バックアップリスト表示」をクリックします。バックアップするおよび、拒否するリストが閲覧でき、さらに編集できます。”

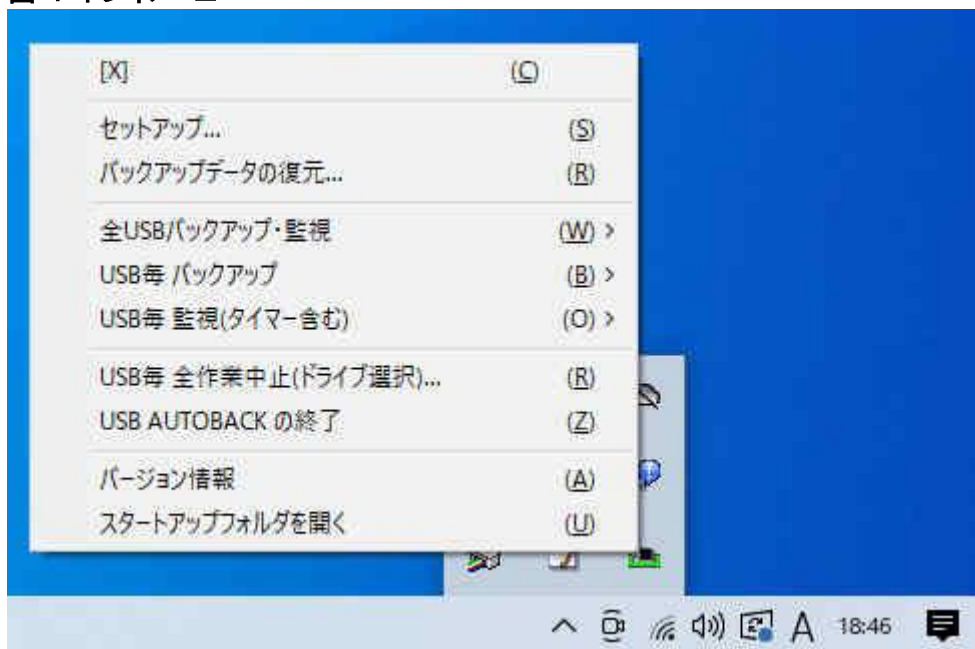


トレイメニューの詳細


トレイメニューに関して(図1)

- [トレイメニューを閉じる](#)
- [「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウを開く](#)
- [「バックアップデータの復元」ウィンドウを開く](#)
- [全 USB のバックアップやファイル監視](#)
- [USB 毎のバックアップ](#)
- [USB 毎の監視](#)
- [USB 毎の全作業中止](#)
- [USB AUTOBACK の強制終了](#)
- [USB AUTOBACK のバージョン情報](#)
- [スタートアップフォルダを開く](#)

図 1 トレイメニュー



トレイメニューを閉じる

- ・ ウィンドウズのタスクトレイ(図2)の「^」マークをクリックし、出てきたアイコン群の内、“”をクリックするとメニュー(図1)が出ます。
- ・ その中で、一番上の段の [X] をクリックするとメニューが閉じます(自動では消えない)。

諸般の事情でこうなっております。ご容赦ください。

図 2 タスクトレイ



セットアップ「USB AUTOBACK の設定」ウィンドウを開く

USB AUTOBACK の設定ウィンドウを開きます。詳細については[こちら](#)を参照ください。

「バックアップデータの復元」ウィンドウを開く

「バックアップデータの復元」ウィンドウを開く。詳細については[こちら](#)を参照ください。

全 USB のバックアップやファイル監視

全 USB に対する監視や、監視の中止を指示します。ただし、この指示を与えた後に新たに USB を挿入した場合、この指示は影響を与えません。あくまでも現在挿入されている USB に関して指示できるということです。同じ USB を抜去して挿入しなおした場合、新たに別の USB を挿入した場合と同様に、この指示は影響を与えません。再挿入時、バックアップと監視を行います。その都度、再度指示をし直すと、そのときすでに挿入されている USB に対して有効となります。

USB 毎のバックアップ

USB を指定して、バックアップを開始したり、中止したりできます。中止した場合は再開できます。バックアップにかかる時間は、再開した場合、中止前に費やした時間分短縮できます(もともと差分バックアップですので今までのバックアップに足していく形になるため)。但し、バックアップとしては別となります。

USB 毎の監視

USB を指定して、監視を開始したり中止したりできます。
但し、USB をいったん抜いて挿入しなおすと監視は再開されます。
また、いったん抜いて挿入しなおすと差分チェックして必要ならバックアップ作業が行われ、さらに監視作業も行われます。

USB 毎の全作業中止

全作業とは、監視およびバックアップのことです。「全 USB のバックアップやファイル監視」に対する指示と同様です。但し、USB 毎に指示するというのが違いです。
但し、USB をいったん抜いて挿入しなおすと監視とバックアップは再開されます。

USB AUTOBACK の強制終了

USB AUTOBACK を強制終了します。監視やバックアップ作業も中止されます。新たに USB が挿入されても当然ながら認識されません。

USB AUTOBACK のバージョン情報

USB AUTOBACK のバージョン情報が表示されます。

スタートアップフォルダを開く

スタートアップフォルダとは、ウインドウズにログインするたびに実行されるプログラムへのショートカットが収められたフォルダです。USB AUTOBACK へのショートカットもこのフォルダに収められています。ショートカットを削除すると、USB を自動で認識し、バックアップする機能が働きません。